前年比1.9%増の3205万人

平成28年、山梨県の観光入り込み客数

富士山人気や外客増で過去最高に

山梨県によると、昨年1年間（平成28年1～12月）の観光入り込み客数は実人数で3205万人と推計され、過去最高を記録した前年の3146万人を1・9%（約58万人）上回った。

「前年に比べてゴールデンウイークやシルバーウイークの日並びが悪かったことや、9月の長雨や台風等の影響などマイナス要因があった」ものの、「世界遺産富士山の継続的な人気や、外国人観光客の増加」があり、増客数が増加した。

一方、観光消費額も4157億円と過去最高。統計の手法を変更した平成22年以降で初めて4千億円を突破した。

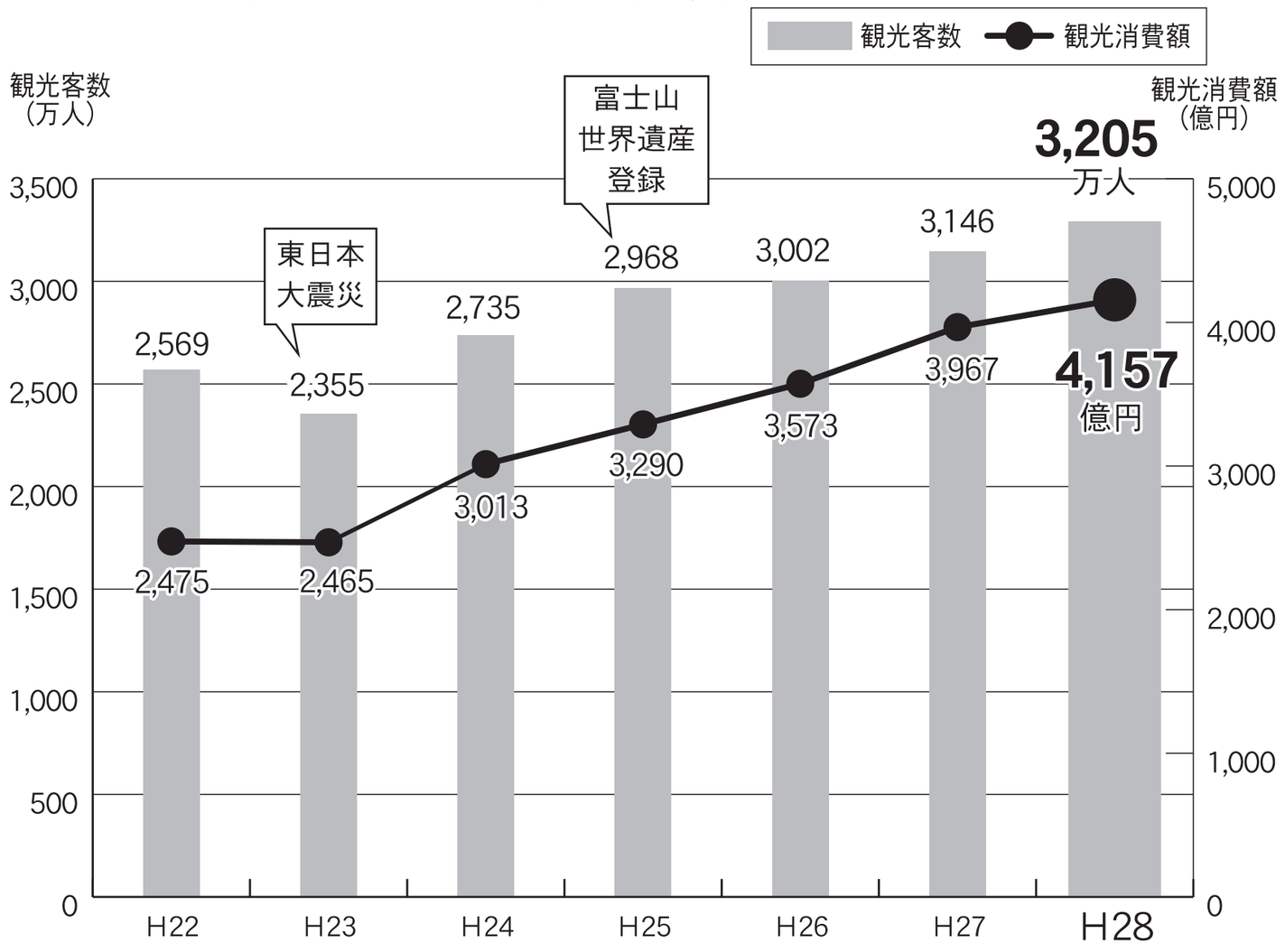
入り込み客数を五つの圏域別に見ると、富士・東部（富士吉田市、富士河口湖町など）が150万人（前年比1・4%増）、峡南（身延町、早川町など）が226万人（同0・7%増）、峡中（甲府市、南アルプス市など）が475万人（同2・2%増）、峡北（北杜市、韮崎市）が458万人（同6・9%減）、峡東（笛吹市、甲州市など）が551万人（同2・2%減）、峡南（23万人、同12・1%減）。富士・東部のみが増加した。

外国人宿泊客は、観光庁の宿泊旅行統計調査結果（速報値）によると、前年比約9・6%増（約12万人増）の約137万3千人と過去最高。

国籍別延べ宿泊者数の上位は前年同様に1位が中国で、全体の55・0%を占める。以下は台湾、タイなど。

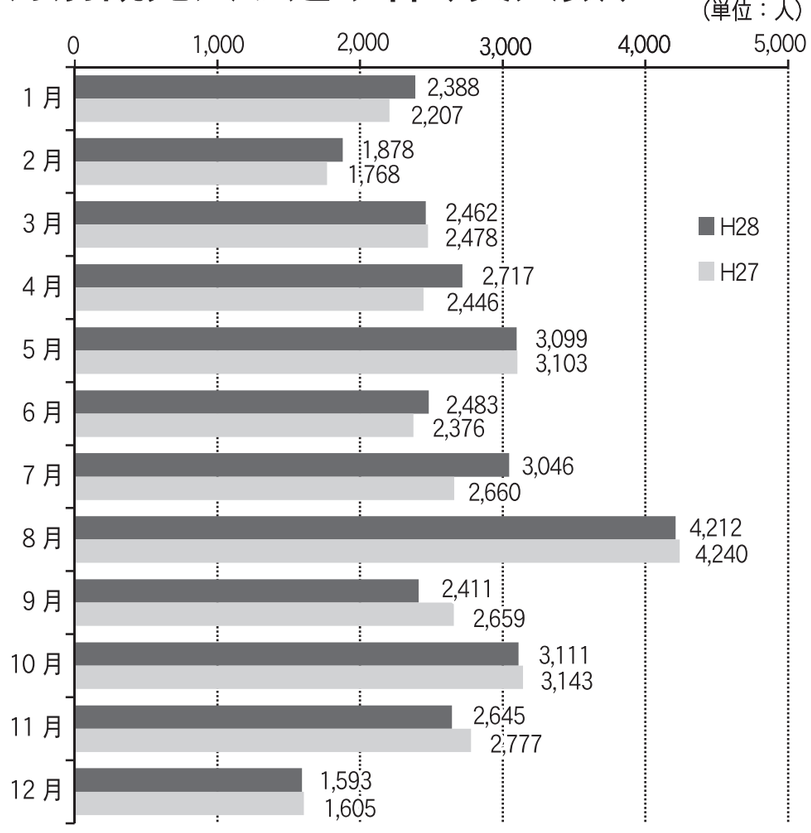
消費額は初の4000億円突破

山梨県の観光入り込み客数と観光消費額の推移

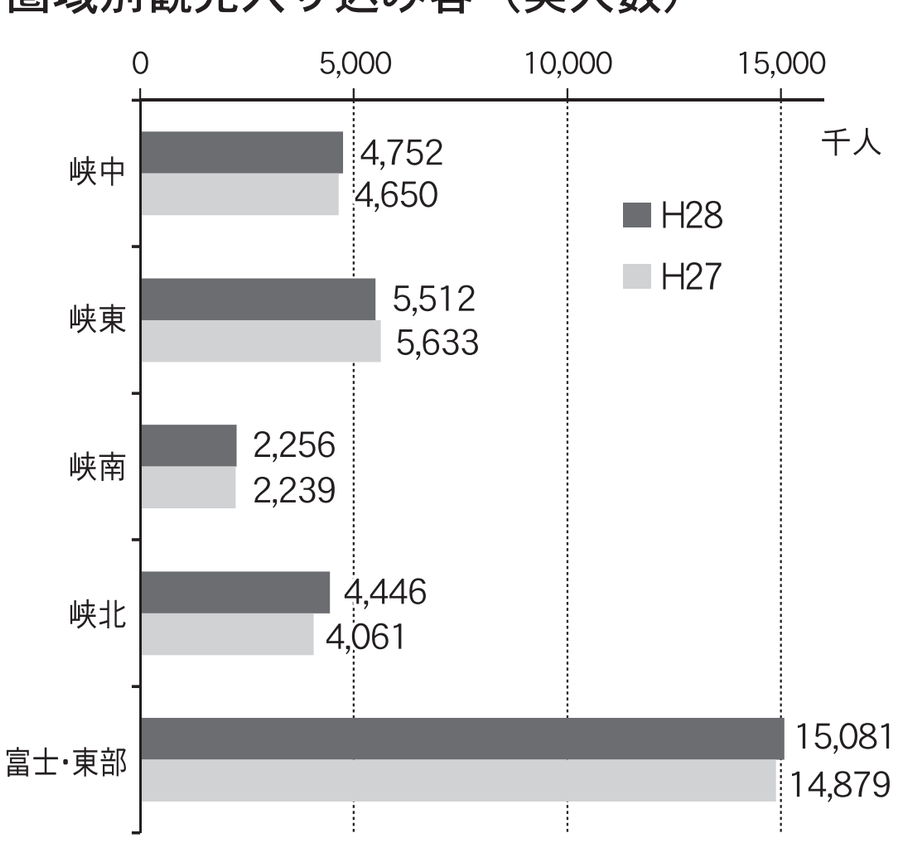


	主な出来事
1月	・おもてなしやまなし！ふるさと旅行券の利用期間
2月	・おもてなしやまなし！ふるさと旅行券の利用期間
3月	・やまなし観光産業活性化計画を策定 ・外国人誘客促進アプリ「FUJISAN ACTIVITIES」を提供開始
4月	・熊本地震発生（震度７） ・信玄公祭りの観客動員数が15万人と過去最高を記録
5月	・やまなし観光推進機構が観光庁の DMO 候補法人に登録 ・伊勢志摩サミットで山梨県産ワインを提供
6月	・富士山世界遺産センターがオープン
7月	・富士スバルラインマイカー規制（７月10日～８月31日　53日間）
8月	・タイ、インドネシア、マレーシアで知事がトップセールスを実施 ・マレーシアの首都クアラルンプールではアンテナショップ「富士の国やまなし館 KL」を開設 ・リオオリンピックで江原選手、後藤選手、鈴木選手をはじめ多くの本県関係選手が活躍
9月	
10月	
11月	・道の駅「つる」オープン
12月	

月別観光入り込み客（実人数）

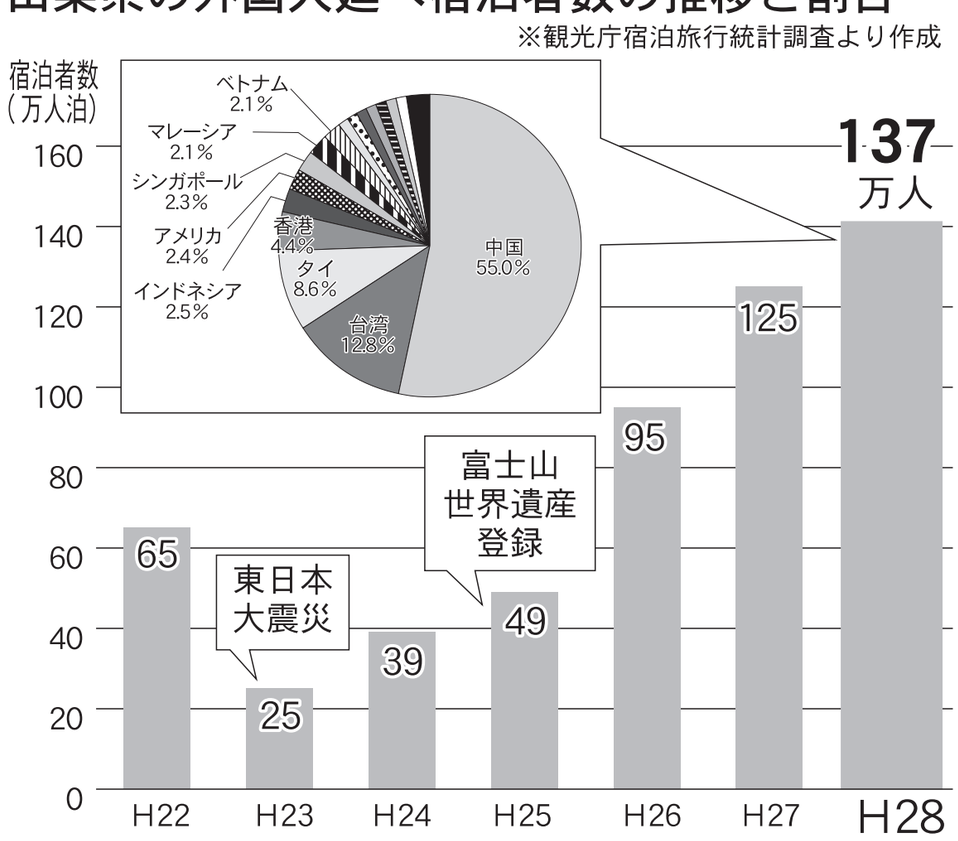


圏域別観光入り込み客（実人数）



山梨県の外国人延べ宿泊者数の推移と割合

※観光庁宿泊旅行統計調査より作成



調査データ